

所属学科：創成科学研究科

氏名：長下 敬

派遣期間：2018年3月4日～2017年3月11日

派遣先：台湾、台湾師範大学

はじめに

2018年3月4日～2018年3月11日、台湾において台湾師範大学のスプリングプログラムに参加しました。このプログラムの中で、大学内や周辺の散策、講義の受講、台湾固有の地質、地形の観察を行いました。言語や食文化、そして講義内容において、日本の大学に在籍しているだけでは味わうことのできない経験をすることができました。これらに加えて、比較的、航空機代も安価であり、治安も良いため留学に向いていると感じました。本プログラムを企画し、進行していただいた台湾師範大学の学生、教授、事務局の方々に厚く御礼申し上げます。また関西学院大学の引率であった坪井先生、共にプログラムに参加した関西学院大学の学生の方々に感謝申し上げます。本プログラムの日程およびその概要を以下に示します。

-
- 1日目：移動(福岡～台湾)、オープニングセレモニー
 - 2日目：講義(コンピューターサイエンス・情報工学、数学)
 - 3日目：バス移動、フィールドワーク
 - 4日目：フィールドワーク
 - 5日目：フィールドワーク、バス移動
 - 6日目：講義(生物、化学)
 - 7日目：講義(自然科学)、プレゼンテーション、フリータイム
 - 8日目：移動(台湾から岡山)
-

講義

自身の専門分野外の内容に多く触れることができ、科学と社会のつながりを考えるうえで、非常に実りのあるものでした。講義の内容についても、講義をしてくださったどの先生方の“伝えようという思い”が強く感じられ、随所に集中力を途切れさせないような工夫が見受けられました。座学だけでなく、体験型の講義が多く、慣れない土地での疲労なども考えた講義日程が組まれていたことに、非常に感心しました。図に講義の様子の画像を示します。左から情報工学、数学、化学です。どの講義においても、台湾師範大学の先生方と受講している学生どちらも、真摯に取り組んでいることがお分かりいただけると思います。



図：講義の様子（左から情報工学、数学、化学）

フィールドワーク

台湾では、ティーチングアシスタント（TA）の引率の元、非常に多くの場所を訪れることができました。プログラム内で実施されたフィールドワークの他に、毎日、台湾に所縁がある場所に連れて行ってもらったことを非常に感謝しています。特に、私が魅力を感じた場所は、映画“千と千尋の神隠し”の湯屋のモデルの一つとなったと言われる“九份(キュウフン)”です。台湾における人気の観光スポットの一つで、観光客が非常に多く、台湾ご当地の品を扱う露店も数多くありました。この露店で買う料理は非常においしいものばかりで、とても満足したことを覚えています。また夜になると非常に幻想的な風景になり、景色とそのほかの魅力的なものに現を抜かしてしまうと、迷子の原因にもなりますので、注意が必要です。図に九份散策の様子を画像を示します。左から九份からの景色、幻想的な提灯、記念の一枚です。提灯などが良い雰囲気演出しており、映画“千と千尋の神隠し”を見たことがある人は、いろんな思い出とともにそのことを連想するのではないのでしょうか。



図：九份散策の様子(九份からの景色、幻想的な提灯、記念の一枚)

謝辞

今回のプログラムは、日本以外の国を知るという上で、非常に魅力的なものでした。海外渡航に少しでも興味のある方は、ぜひとも挑戦してもらいたいと思います。また渡航先の学生の研究に対する真摯な姿勢、TAとして、私たちに全力を注いでくれる姿勢に非常に感銘を受けました。帰国後の自身の研究への向き合い方に良い影響を与えてくれていると感じます。最後にはなりますが、改めまして、今回の遠征に関しまして、お世話になった山口大学関係者の方々、関西学院大学の方々並びに台湾師範大学の方々に心より御礼申し上げます。